



Atsuko Kudo Mail Magazine 241

2021.01.03

明けましておめでとうございます！

12月25日から札幌の実家に来ています。いつもですと親戚や知人家族と共に年越しをするのですが、今年はそれが出来ず、父・妹と3人で家族水入らずの年末年始を過ごしました。

写真は近くの公園です。年末年始は大寒・大雪の予報でしたが、大晦日、1月2日と、素晴らしい青空が広がりました。

実家では、11月下旬、93才の父が散歩をしている時に、後ろから走って来た高校生が父のストックにぶつかった勢いで転倒、左目の上をアスファルトに打つという事故がありました。検査の結果、幸い骨にも脳にも目にも異常はありませんでした。ただ、内出血が顔中に広がり、2週間ほど、タイガーマスクのようになりました。内出血が治まった後は、たんこぶの血液と水が徐々に下がってまぶたをふさぎ、目の周りも薄く変色して、遠くから見るとパンダのようになりました。随分良くなってはきたものの、なかなか消えない「目の上のたんこぶ」ですが、どんな時も前向きな父は、自分の形相を鏡で見ても「ハハハ」と笑い飛ばしています。現役だった時代も、

上役に何を言われても気にせず、どんな人ともうまくやってきた父にとって、「目の上のたんこぶ」は全く気にならないようです。

●「わたし（イエス様）に従いなさい」（2021年の指針）

昨冬は、祈りの中で、またみことばを通して、「主を証しせよ」「みことばを証しせよ」「賛美とは、神の栄光を現すこと。自分の技を見せることではない」「神の栄光を現すために、みことばに聞け。みことばの法則、神の法則に従え」といった主からの語りかけがありました。

そして大晦日、2021年の指標を求めると、示されたのは、ヨハネ21章から、「わたし（イエス様）に従いなさい」でした。

これから教会を建て上げる働きのリーダーとなるペテロに、主が2度も念を押して、「わたしに従いなさい」と語り残しました。これは、主を求めるすべての者すべてに、主が今日も語っておられることばだと思えます。働きの大小にかかわらず、主は一人一人にご計画を持っておられ、私には私に課せられた任務があると思えます。2021年も、聖書をよく読み、みことばに従い、みことばを行い、日々主に感謝と賛美を捧げ、よく祈り、主の業をさせていただきたいと願っています。今年も、AKWMの働きのためにお祈りお支えいただけますなら感謝です。

●今後の予定

- 今年のコンサート予定はコロナウイルスの影響で、今のところ未定の状態ですが、今まで同様、札幌と大阪の事務局を行き来する予定でいます。

- 昨年秋から声楽賛美レッスン（個人レッスン）を再開しています。レッスンは、大阪市の大きな会堂をお借りし、3m以上の距離を取ってしています。ご希望の方がいらっしゃいましたら、事務局までお問合せください。

主の豊かな祝福、守り、平安が、皆さまと共にありますように！

主にありて

Atsuko Kudo